

2022年度(下期) 鳴尾浜事業部 安全衛生管理計画表

事業部長	マネジャー

提示日:2022年10月1日

全社方針	当社経営理念より、安全・確実・丁寧を基本とし、より質の高いサービスを追及し、お客様満足の実現に向け「安全最優先で安心して働ける環境」を整え、「働く人の命と健康」そして「家族」を守ることを推し進めます。	事業所課題	1 安全作業KYサイクルの定着 2 危険予知活動やヒヤリハット事例抽出に全員が参加 3 通路の再設定
事業部方針	鳴尾浜事業部は、安全最優先を念頭においた職場環境づくり、及び、不安全状態を見逃さない組織風土を構築し、全社員の命と健康を守るために、労使が一体となった安全衛生活動に取り組みます。		
事業所方針	方針「全社員の健康保持増進と快適な職場環境の形成を促進します」 ①すべての行動は「安全第一」(作業者の安全確認・動力車の安全走行) ②職場の整理・整頓・清掃の実践 ③「正しい手洗い」の励行 ④コロナ対策 ※継続課題「正しい5S活動」「環境・省エネ」「あいさつ推進運動」	年間目標	1 安全作業KYサイクル活動で、職場全体のコミュニケーション活性化 2 職場巡回を通じて、災害の芽を探し・取り除くことを習慣化 3 安全通路を作成 4 労働災害 年間 2件以内(鳴尾浜事業部全体) 5 動力車事故 年間 2件以内
前年度の活動の評価と見直し	1 環境測定(騒音・照度)を開始 2 手順書に、安全ポイントを追記 3 活動結果を安全衛生日誌に記録 4 PDCAサイクルの継続	前年度のリスクアセスメントの実施結果等における特定事項	1 再構築でのロケーション変更に伴う通路の変更

備考: ○・・・取組実施月 ・・・取組期間 → 備考: ○・・・100%実施、△・・・75%以上、×75%未満

重点施策	実施項目	目 標	担 当	実施スケジュール						評 価	次年度計画での検討事項	留意点
				10	11	12	1	2	3			
安全衛生教育の実施	1 手順書の更新	・システム更新・安全ポイント明記	・マネジャー	→								
	2 作業指示書の運用	・安全行動に関する内容を追加	・リーダー会	→								
	3 安全管理者ステージアップ講座	・1人以上参加	・マネジャー			○						
	4 安全管理者選任時研修	・1人以上参加	・マネジャー	○								
	5 職長等教育	・1人以上参加	・マネジャー	○								
職場自主活動の推進	1 危険予知活動	・月1回以上実施(定期開催第1週目)	・リーダー会	→								
	2 ヒヤリハット事例の抽出	・各工程1事例以上抽出	・リーダー会	→								
	3 挨拶運動	・職場巡回(週1回)時に実施	・リーダー会	→								
職場巡回の実施	1 安全作業KYサイクル	・安全衛生日誌に記録化	・リーダー会	→								
	2 職場巡回(週1回、毎日)	・課題抽出から改善提案	・リーダー会	→								
	3 産業医職場巡回	・法定巡回	・部長		○		○		○			
職場環境の維持	1 通路の確保	・通路の再設置	・リーダー会	準備								
	2 環境測定(騒音・照度)	・数値による見える化	・リーダー会		○							
5S活動	1 清掃活動の参加	・定期的に清掃活動を実施する	・リーダー会			準備	実施	改善	検証			
安全衛生自己診断評価	1 全項目							○				

2022年度(下期) トータルサポート事業部 安全衛生管理計画表

事業部長	マネジャー

提示日:2022年10月1日

全社方針	当社経営理念より、安全・確実・丁寧を基本とし、より質の高いサービスを追及し、お客様満足の実現に向け「安全最優先で安心して働ける環境」を整え、「働く人の命と健康」そして「家族」を守ることを推し進めます。	事業所課題	①玉津構内での安全確保として通路の整備 ②全社員参画による、リスクアセスメント活動の推進 ③日々の安全業務推進のための安全管理者による職場巡視の実施 ④旧リサイクル棟2F開口部における安全対策(フルハーネス着用作業)
事業部方針	社員が心身ともに健康的に就業できる職場とすることを第一に考え、あるべきルールの作成と、ルールを遵守する職場風土を根付かせ、安全安心な職場構築を目指します。		
事業所方針	同一倉庫内で複数事後由緒の動力車が行き交うことから玉津構内の安全確保を目指し通路の整備を進めます。従事する全社員参画型のリスクアセスメントを実行し、労災ゼロを目指します。各危険場所の把握をおこない、それに応じた安全確保をおこない、日々点検をおこないます。	年間目標	・労働災害(通勤災害含む)3件以内
上期の活動の評価と見直し	<ul style="list-style-type: none"> 玉津構内の安全通路確保を目指したが、進捗は大幅に遅れた。下期に対しては早急に体制を整え、進捗の前進を行う。 職場に必要な有資格の配備は確認のうえ、一定の配置は行えた。 荷役運搬車両の法令点検記録の保持、保管は確実にしている。 次年度に向けた有資格の育成と計画をおこなった。 動力車の安全行動は動力車オペレーター中心に確認、共有化をおこない、「指差呼称」の正しいやり方を行い継続を図る。 ヒヤリハット活動等の全社員参画の取り組みができていない、準備を行ない下期の取り組みを進める。 	上期のリスクアセスメントの実施結果等における特定事項	上期「リスクアセスメント活動」未実施

備考: ○・・・取組実施月 ・・・取組期間 ➡ 備考: ○・・・100%実施、△・・・75%以上、×75%未満

重点施策	実施項目	目 標	担 当	実施スケジュール						評 価	次年度計画での検討事項	留意点
				10	11	12	1	2	3			
通路の整備	1 作業場における安全な通行帯の設定	歩行者とフォークリフト通行帯の設定	各チーフ	➡								
	2 在庫置場等のレイアウト見直し	安全で効率的な作業同線の確保	各チーフ		➡	➡						
	3 職場整理整頓	物があるべき場所に整頓⇒チェック	マネジャー	➡	➡	➡	➡	➡	➡			
リスクアセスメントの推進	1 事業所内での危険箇所抽出	社員全員での参画	安全チーフ				➡					
	2 危険箇所の優先改善の検討	他からも評価される	マネージャー					➡				
	3 改善箇所のフィールドバックの実施	具体策、見える化	社員						➡			
安全管理者による職場巡視	1 巡視点検表の作成	日々現場の不適合を見つけ出す	安全管理	➡	➡	➡	➡	➡	➡			
	2 巡視計画表作成	安全管理者の日々点検の実施	安全管理	➡	➡	➡	➡	➡	➡			
高所作業場(旧リサイクル棟)における安全対策	1 特定箇所の検索と見積り	危険箇所の改善	安全管理	➡	➡							
	2 フルハーネス講習修了者が作業従事	講習修了資格	部署責任者	➡	➡							
動力車の安全行動	1 法令遵守(ヘルメット着用、運行前点検)	全リフトマン100%実施	各チーフ	➡	➡	➡	➡	➡	➡			
	2 発進時の呼称(声掛け)	全リフトマン実施(後退時100%実施)	各リーダー	➡	➡	➡	➡	➡	➡			
	3 見通しの悪い箇所での一旦停止	通行帯交差、見通しの悪い箇所実施	各リーダー	➡	➡	➡	➡	➡	➡			
報告・記録・掲示	1 職場に必要な有資格の配備と掲示	一覧の作成と所属での認識ができています	安全チーフ	➡	➡	➡	➡	➡	➡			
	2 荷役運搬車両の法令点検記録の保持・保管	記録を保持し、管理されている	マネージャ	➡	➡	➡	➡	➡	➡			
	3 有資格者の育成と計画	次期管理者や従事者が計画できてい	部長	➡	➡	➡	➡	➡	➡			